

(部分)責任実習 指導計画

実習指導者

印

実習生氏名

印

20xx年○月○日(△)		場所	
		保育室・ホール・園庭	
主な活動 (題材)	フォークダンスを踊る		実習 クラス (異年齢・親子など)歳児 ()組 男児(10)名 女児(10)名 計(20)名
幼児の姿 (前日までの 幼児の姿を 多面的に捉 えて書く)	異年齢での取り組みが望ましい。リズム遊びを続ける中で、音楽に合わせて体を動かすことが楽しいと感じている。ペアで息を合わせて踊る楽しさ、友達と手をつないで踊る楽しさなどを伝えたい。振付けは簡単にアレンジして楽しめる内容に工夫したい。		保育活動 のねらい ・リズムに乗って体を動かすことを楽しむ。 ・異年齢で踊ることで、できるようになることが増える。 ・様々な動きに取り組むことができる。 ・ペアを組む、手をつなぐことから仲間づくりにもつながる。
時間	環境構成	予想される幼児の活動	保育者の援助・配慮
10:00 (導入)	【ホール・体育館・園庭】 ・危険な物が無い空間で行う	・動きやすい服装で行う。 ・リズムに合わせて体を動かすことを楽しむ。 ・友達と共に踊ることにより、動くこと、息を合わせることを楽しむ。	・導入として、カウントで行い、動きを覚えることから始める。 ・子どもたちが楽しく踊れるように、次の動きにはいりやすいような言葉かけをする。 ・簡単な振付けにアレンジする。
10:05 (主活動)	【準備物】 ・音源	・音楽に合わせて踊ってみる。 ・繰り返し同じ動きをすることで覚えることができる。 ・友達とペアになる楽しさ、手をつなぐことを楽しむ。 ・いつもと違う子どもとも接する機会になる。	・同じメロディーの繰り返しにより、子どもたちが自然に覚えらる。 ・保育者も共に踊り、楽しむ。 ・表情は大切であり、マスクの下の笑顔が感じられるように心がける。
10:25 (まとめ)			
10:30			
自己振り返り・評価等	フォークダンスは「伝承されてきた日本の地域の踊りや外国の踊りを取り上げ、みんなで一緒に踊るのが楽しい運動」である。振付けは幼児向けに簡単にアレンジし、楽しさを伝えられるようなダンスにして取り入れることが望ましい。既存のダンスを土台に、年齢に合った工夫をすることで、様々なリズム遊び・表現遊びに展開したい。		